

特別展

生誕140年・没後90年

竹久夢二展

2024.11.24 sun
- 2025.2.16 sun



1910(明治43)年頃の夢二 画像提供:夢二郷土美術館

2024年、画家・詩人の竹久夢二は、生誕140年・没後90年という節目の年を迎えます。これを記念して、特別展「生誕140年・没後90年 竹久夢二展」を開催いたします。

夢二は、最初の画集『夢二画集 春の巻』序文に、次のように記しています。

「私は詩人になりたいと思った。けれど、私の詩稿はパンの代りにはなりません。ある時、私は、文字の代りに繪の形式で詩を書いて見た。その言葉通り、詩心を絵に託した夢二は画家として人気を博し、描いた女性画は「夢二式」として、いまなお多くの人々に愛されています。

本展示では、夢二の画集や詩集などの著書のほか、表紙絵を手掛けた楽譜、版画、掛軸、短冊などを展示いたします。また、夢二と吉備路ゆかりの文学者たちとの交流についてもご紹介いたします。

竹久夢二の略歴

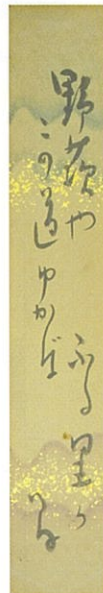
TAKEHISA YUMEJI

画家・詩人/1884(明治17)年~1934(昭和9)年/現・岡山県瀬戸内市生
明治17年、現在の岡山県瀬戸内市邑久町に生まれる。本名は茂次郎。35年、早稲田実業学校に入学。在学中の38年、「中学世界」に投書したコマ絵「筒井筒」が第一賞に入選する。同年、早稲田実業学校を中退。42年、最初の画集『夢二画集 春の巻』を刊行、大きな反響を呼ぶ。以後、画集のほか、詩集、歌集、童謡集など多数刊行。また、自著を含む多数の書籍の装幀、楽譜の表紙絵のほか、エハガキ、封筒、千代紙、浴衣、半襟などのデザインも手掛けた。昭和6年、外遊の旅に立ち、8年に帰国。9年、信州富士見の高原療養所にて逝去。



*上寺山は、岡山県瀬戸内市邑久町にある、餘慶寺の山号。

夢二画/掛軸「上寺山」



夢二筆/俳句短冊

「野茨やこの道ゆかばふる里か 夢」



『夢二画集 春の巻』
(洛陽堂/明治42年)



詩集『どんたく』
(実業之日本社/大正2年)



セノオ楽譜「お江戸日本橋」
(セノオ音楽出版社/大正5年)
表紙絵は夢二によるもの。

北泉庭のご案内

吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。

春夏秋冬

四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。

